地球温暖化対策検討部会だより

第１号　2009.6.29　（月１回発行）

特集

地球温暖化が北海道農業に与える影響とその対策

第１回　地球温暖化は本当か？

～ＩＰＣＣ第４次報告において、研究成果が公表されている～

●年々世界の平均気温は上昇している

これまでの１００年間で世界平均気温が１℃上昇している

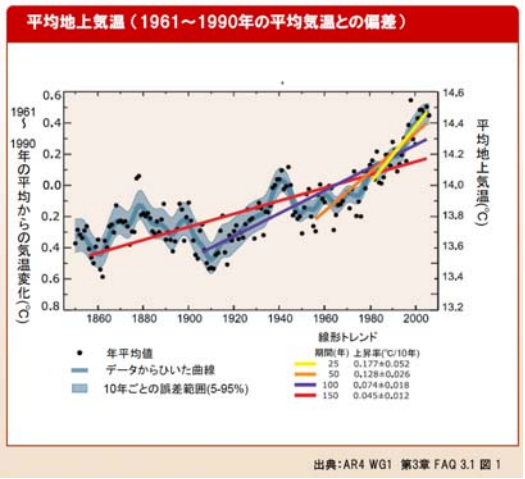
●近年は温暖化が加速している

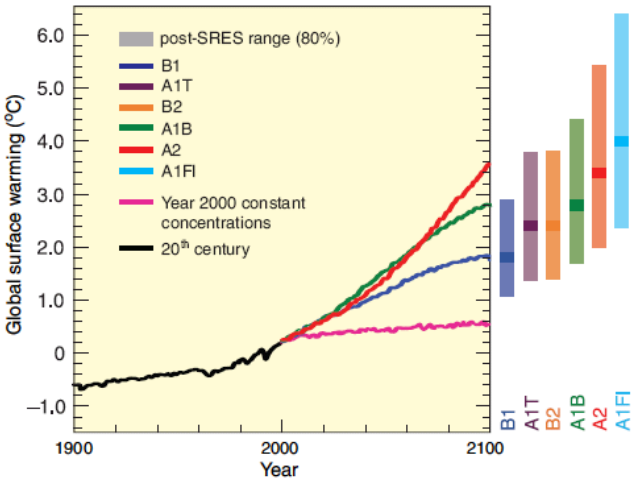
最近１１年間の上昇は１８５０年からのデータの中で最も急速に上昇している

●雪氷は減少し海面が上昇しつつある

観測によるとここ１００年間で１７ｃｍの海面上昇が観測されている

「もはや地球温暖化は疑う余地がない」（ＩＰＣＣ第４次報告）





●今後温暖化は加速する

今後１００年間で、１℃から６℃の平均気温の上昇が地球シミュレータにより予測されている。

（地球シミュレータ・・世界各地の研究者らが実測値や予測式などのパラメータを用いて開発。これまで 100 年間の実測値の再現性が確認されたモデルを用いて将来予測が行われる。）

●正のフィードバックは予測に含まれていない

温暖化により氷床や永久凍土が融解すると、温室効果ガスの新たな発生の可能性があるが、これらは予測に含まれていない。予測値には不確実性が残る。

～地球温暖化による影響が世界各地で報告されている～

●氷雪がどんどん縮小している

キリマンジャロの氷河と積雪面積が縮小している

●干ばつにより農業生産が低下している

オーストラリアにおいて、干ばつや火災によって小麦生産が低下している。

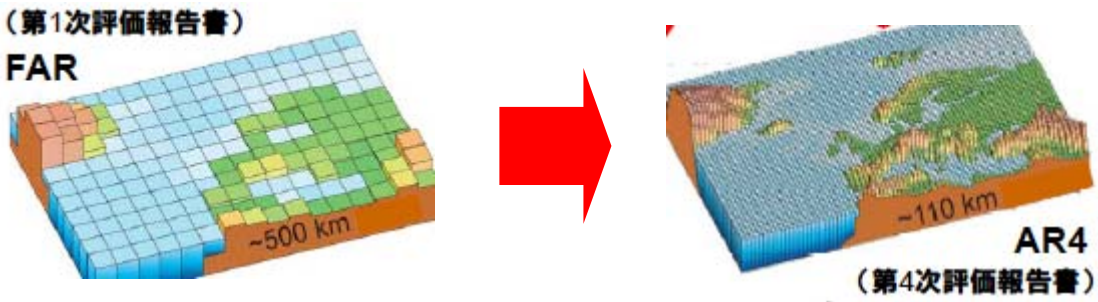
今夏（北半球は冬）の最高気温は４６℃を記録し、乾燥した空気のため火災が発生し、甚大な被害となったことは記憶に新しい。

●北極や南極の永久氷床が縮小し、生物の生息環境が脅かされている

ホッキョクグマやコウテイペンギンの生息数が減少している。

～スーパーコンピュータの高速化により予測精度は向上している～

世界の研究者により開発された予測モデルの精度は年々向上している。



次号予告　第２回　地球温暖化の原因は何か？

次号では、地球温暖化の原因についてＩＰＣＣ第４次報告の内容を紹介します。

部会への御意見をお待ちしています

地球温暖化対策検討部会では早期に検討を進めていくために、皆様からの御意見をお待ちしています。本通信で取り上げてほしい話題や、疑問などでも結構ですので、積極的に参加いただきますようお願いいたします。

◇本部会の情報収集・発信 WG◇　北海道農政部農村振興局農村計画課　農村計画グループ

Tel　011-231-4111(内線 27-425)

E-mail　nosei.keikaku1@pref.hokkaido.lg.jp